



## 平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年12月16日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 平和堂

コード番号 8276 URL <http://www.heiwado.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 夏原 平和

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 竹中 昭敏

TEL 0749-23-3111

四半期報告書提出予定日 平成22年12月28日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年2月期第3四半期の連結業績(平成22年2月21日～平成22年11月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	279,616	△1.1	6,274	13.0	6,272	12.2	3,291	△26.4
22年2月期第3四半期	282,644	—	5,552	—	5,590	—	4,473	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	58.97	55.17
22年2月期第3四半期	79.85	74.72

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	274,404	107,190	38.4	1,890.96
22年2月期	270,729	106,178	38.6	1,866.88

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 105,272百万円 22年2月期 104,382百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	10.00	—	15.00	25.00
23年2月期	—	10.00	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	—	—	15.00	25.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年2月21日～平成23年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	388,000	0.6	10,500	8.7	10,500	8.8	5,400	△16.4	96.79

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 \_\_\_\_\_）、除外 一社（社名 \_\_\_\_\_）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年2月期3Q 58,546,470株 22年2月期 58,546,470株

② 期末自己株式数 23年2月期3Q 2,874,895株 22年2月期 2,633,738株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年2月期3Q 55,819,682株 22年2月期3Q 56,017,494株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
【第3四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成22年2月21日から平成22年11月20日）におけるわが国経済は、政府の景気刺激策や新興国市場の需要拡大による輸出増加もあり、緩やかな改善となりました。しかし、雇用や家計所得環境は引き続き厳しい状況にありました。

当小売業界におきましても、商品単価の下落が継続する中、競合他社の出店増もあり、厳しい経営環境が続きました。

このような状況の中、当社グループ企業の中核である「株式会社平和堂」は年度スローガン“脱皮—自分が変わる、仕事を変える ピカピカ売場・ピカピカ商品・ピカピカサービス”の下、他社との明確な差異化を図るために、お客さまにとって価値のある売場や商品の提案に取り組んでまいりました。

新規出店につきましては、9月に名古屋市初出店となる「平和堂豊成店」（店舗面積1,767㎡）の他、11月に「フレンドタウン福井」を出店いたしました。2月開店予定の「フレンドタウン竜王」を含め、今期の出店は5店舗を予定しております。また、改装につきましても、12月にアル・プラザ亀岡（京都府亀岡市）に大型テナントを導入するなど、積極的な既存店の活性化を進めてまいります。

販売活動につきましては、衣料品においては、靴・鞆、インナーウェア商品を中心とした展開を拡大強化し、さらに11月25日開店のフレンドタウン福井におきましては、総合衣料品ショップ“e e プラス”の取り組みを始めました。住居関連品につきましては、売場再編集と新商品・話題商品の積極導入による総合家庭用品ショップ“b u i l d”が好調で、店舗の導入拡大をしてまいります。食料品では地産地消の取り組みとして近郊農家からの持ち込み商品の拡大や北陸漁港からの直送品を増やしました。

これら諸施策により、夏季から売上高は回復傾向となり、関連会社におきましても外食事業を始めとして業績は堅調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益2,796億16百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益62億74百万円（前年同期比13.0%増）、経常利益62億72百万円（前年同期比12.2%増）、四半期純利益は32億91百万円（前年同期比26.4%減）の結果となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、敷金及び保証金が減少したものの、受取手形及び売掛金、商品及び製品、土地の増加等により、前連結会計年度末に比べ36億74百万円増加して2,744億4百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ26億62百万円増加して1,672億14百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ10億11百万円増加して1,071億90百万円となりました。

### ② 連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、第2四半期連結会計期間末に比べ20億96百万円増加して114億21百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、46億96百万円の収入（前年同期は33億21百万円の収入）となりました。主な収入要因は税金等調整前四半期純利益20億12百万円、減価償却費25億95百万円、仕入債務の増減による運転資金の流入24億89百万円等であります。一方、主な支出要因はたな卸資産の増減による運転資金の流出39億29百万円等であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、34億60百万円の支出（前年同期は48億98百万円の支出）となりました。主な支出要因は有形及び無形固定資産の取得による支出32億75百万円等であります。一方、主な収入要因は敷金及び保証金の回収による収入3億29百万円等であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、10億21百万円の収入（前年同期は15億69百万円の支出）となりました。主な収入要因は長期借入れによる収入57億円、コマーシャル・ペーパーの増加20億円等であります。一方、主な支出要因は、長期借入金の返済による支出59億92百万円等であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、平成22年9月30日公表時より変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

《簡便な会計処理》

#### ① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

#### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

《特有の会計処理》

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,421	14,457
受取手形及び売掛金	4,636	4,245
有価証券	0	0
商品及び製品	21,209	17,995
原材料及び貯蔵品	116	199
その他	8,460	8,407
貸倒引当金	△360	△362
流動資産合計	48,485	44,943
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	84,135	82,591
土地	88,697	83,618
その他（純額）	6,865	8,002
有形固定資産合計	179,698	174,212
無形固定資産		
のれん	34	49
借地権	5,265	5,353
その他	912	902
無形固定資産合計	6,212	6,305
投資その他の資産		
投資有価証券	3,695	3,944
敷金及び保証金	27,243	31,379
その他	9,378	10,248
貸倒引当金	△313	△312
投資その他の資産合計	40,003	45,259
固定資産合計	225,914	225,777
繰延資産		
社債発行費	4	8
繰延資産合計	4	8
資産合計	274,404	270,729

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,770	26,071
1年内償還予定の新株予約権付社債	10,000	—
短期借入金	30,565	28,823
未払法人税等	1,352	2,517
賞与引当金	2,304	1,214
ポイント引当金	6,362	6,356
利息返還損失引当金	131	131
その他	34,632	33,171
流動負債合計	115,119	98,285
固定負債		
新株予約権付社債	—	10,000
長期借入金	31,940	35,006
退職給付引当金	8,482	8,200
役員退職慰労引当金	5	84
受入敷金保証金	10,978	11,425
その他	688	1,548
固定負債合計	52,094	66,265
負債合計	167,214	164,551
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,614	11,614
資本剰余金	19,017	19,017
利益剰余金	79,350	77,454
自己株式	△4,769	△4,514
株主資本合計	105,212	103,571
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	500	648
為替換算調整勘定	△439	161
評価・換算差額等合計	60	810
少数株主持分	1,917	1,796
純資産合計	107,190	106,178
負債純資産合計	274,404	270,729



(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年11月20日)
売上高	264,257	261,829
売上原価	187,127	184,738
売上総利益	77,130	77,090
営業収入	18,386	17,786
営業総利益	95,517	94,877
販売費及び一般管理費	89,964	88,602
営業利益	5,552	6,274
営業外収益		
受取利息	288	260
その他	548	510
営業外収益合計	836	771
営業外費用		
支払利息	638	546
その他	159	228
営業外費用合計	798	774
経常利益	5,590	6,272
特別利益		
貸倒引当金戻入額	96	3
その他	29	0
特別利益合計	126	4
特別損失		
固定資産除却損	261	176
投資有価証券評価損	114	—
減損損失	—	82
その他	29	80
特別損失合計	405	339
税金等調整前四半期純利益	5,311	5,936
法人税、住民税及び事業税	1,531	2,802
法人税等調整額	△885	△361
法人税等合計	646	2,441
少数株主利益	192	203
四半期純利益	4,473	3,291

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年8月21日 至平成21年11月20日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年8月21日 至平成22年11月20日)
売上高	85,598	87,060
売上原価	60,637	61,385
売上総利益	24,960	25,674
営業収入	6,036	5,944
営業総利益	30,996	31,618
販売費及び一般管理費	29,594	29,532
営業利益	1,401	2,086
営業外収益		
受取利息	88	87
債務勘定整理益	54	—
その他	90	118
営業外収益合計	234	206
営業外費用		
支払利息	193	175
その他	43	39
営業外費用合計	237	215
経常利益	1,398	2,077
特別利益		
貸倒引当金戻入額	7	2
投資有価証券売却益	3	—
その他	—	0
特別利益合計	10	2
特別損失		
固定資産除却損	52	55
投資有価証券評価損	114	—
その他	6	12
特別損失合計	173	68
税金等調整前四半期純利益	1,236	2,012
法人税、住民税及び事業税	847	1,287
法人税等調整額	△279	△483
法人税等合計	567	804
少数株主利益	67	67
四半期純利益	600	1,139

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年11月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,311	5,936
減価償却費	7,763	7,661
のれん償却額	42	13
退職給付引当金の増減額(△は減少)	395	281
受取利息	△288	△260
支払利息	638	546
固定資産除却損	261	176
売上債権の増減額(△は増加)	1,514	△425
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,240	△3,163
仕入債務の増減額(△は減少)	2,679	3,935
預り金の増減額(△は減少)	△112	△2,973
その他	3,025	1,725
小計	19,991	13,451
利息及び配当金の受取額	225	224
利息の支払額	△699	△579
法人税等の支払額	△2,304	△3,780
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,213	9,316
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△1,237	△1,178
有形及び無形固定資産の取得による支出	△10,933	△13,026
長期前払費用の取得による支出	△1,354	△132
敷金及び保証金の差入による支出	△250	△50
敷金及び保証金の回収による収入	821	4,689
その他	△1,325	△1,501
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,279	△11,198
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,736	△1,160
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	6,000	5,000
長期借入れによる収入	9,895	10,040
長期借入金の返済による支出	△15,290	△10,204
配当金の支払額	△1,400	△1,396
自己株式の取得による支出	△132	△255
その他	△865	△888
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,530	1,135
現金及び現金同等物に係る換算差額	77	△255
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△518	△1,002
現金及び現金同等物の期首残高	9,906	12,423
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,387	11,421

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年2月21日 至 平成22年11月20日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年2月21日 至 平成22年11月20日)

該当事項はありません。